

令和5年度 第2回 八潮市環境審議会 議事録

令和6年2月27日（水）午後2時30分～午後4時00分
八潮市役所 4階 4-2会議室

1 開 会

2 あいさつ（大山市長）

3 議 事

(1) 八潮市環境報告書について

審議内容は下記のとおり

事務局 令和4年度八潮市環境報告書について、資料に基づき説明

委員 ・第1章八潮市の環境について、説明だけではなくて、地図があればわかりやすいのではないかと。
・送付に使われている封筒が再利用できるようになっているのは八潮市だけであり、リサイクルできる良い取り組みだと思う。

事務局 →地図は記載するようにする。

委員 ・P.45の公害防止対策優良工場について平成7年度以降は表彰工場がないが、なぜなくなってしまったのか。SDGsを促すために良い工場等を認めていく仕組みが必要であるが、新しく良い制度を作るのではなく、こういう制度があるのであれば、利用したらどうか。

事務局 →公害防止優良工場について、昔は公害防止に積極的な姿勢であり、適切な公害防止施設の整備を行った工場に対して表彰していたが、現在は公害防止対策をとることは、当然のことであるため、公害防止の面でだけ表彰するのは時代に合わない部分がある。

今後は公害防止ではなく、省エネや電気自動車の導入数等の先進的な取り組みがあれば、ホームページなどで紹介するような形で周知啓発していけたらと考えている。

委員 ・良いところをほめることをぜひお願いしたい。
・新庁舎については、先進的な建物であるため、取り組みを紹介して宣伝したらどうか。パンフレット等を閲覧できたが、配付があったら良い。

事務局 →環境性能に関しては、市民の皆様に紹介しているが、伝わっていない部分がある。担当部署と協力して周知活動を進めていきたい。

委員 ・エコファーマー認証関係については達成率がなかなかあがらない。使用料は利用者の負担になってしまうのか、どのくらいかかるのか。

事務局 →エコファーマーの認証登録にかかる費用の具体的な金額は把握していないが、取り組みが当然のこととして捉えられているため、時代に合わなくなってきた。次期計画策定時には目標自体を見直す必要が出てきている。

- 委員 ・事業者用太陽光発電システムの補助金開始について、どのくらいの件数がきているのか。
- 事務局 →問い合わせについては何件かあるが、申請はまだ1件もない。ホームページのほか、金融機関や商工会に依頼してお知らせしている。特に事業者向けの補助金は設置金額に対して補助金額が少ないことから、申請が進まない理由の一つかもしれない。
- 委員 ・脱炭素の取り組みの補助金については、県でも補助金があり、併せて利用できると思うので、周知について協力してもらいたい。
- 委員 ・先ほどのSDGsに関する先進的な取り組みについては、ホームページに事例を紹介するという方法もある。ご検討いただければと思う。
- 委員 ・同じ活動をしていて評価が上がってくるのか、目標の見直しが必要なのか、新たな活動を始めて目標達成に向けていくのか、いろいろされていることは伝わってくるので、時期に適切な見直しをする必要があると思う。
- 委員 ・河川水質について、生物が生息できない判定が出ている箇所がある。これについて解決策があるのか。
- 事務局 →NO.2、-4については、河川というよりは排水機場であり、水の流れがほとんどない箇所である。最終的に放流される前の箇所で採取していることから、この箇所の水質を改善するのは難しく、採取地の見直しも考えられる。下水道の整備や合併浄化槽などは整備されつつあり、流れがあるような河川の本川はかなり綺麗になってきている。
- 委員 ・水質調査の関係では県も連携して取り組んでいきたいと考えている。特に健康項目で1箇所、検出値がでていたので、県でも注視していきたい。情報交換をよろしくお願ひしたい。
- 委員 ・P.18 ごみの減量化について、市民の協力があつてのもの、出し方が非常にきれいになった。本当にきれいになっている。
- 事務局 →市民の皆様のおかげできれいに保たれている。将来的にはプラスチックの分別をお願いしようと思っている。プラスチックが資源化できれば、ごみの量が減る。受け入れ先などまだ未確定な部分も多いが、決まり次第環境審議会でもお知らせする。
- 委員 ・カラスネットの色について、黄色が良いという話があるが、どうか。
- 事務局 →昔は黄色が良いと言われていたが、実証実験をしたところ、特に関係ないという結果が出ている。
- 委員 ・カラスは頭が良いから、ネットをめくりあげてしまうので、対応は難しい。
- 事務局 →ネットの周りに少し重みがついているようになっている。場所によっては、ネットの角にブロックを置いたりして防いでいる方もいる。良い方法があれば共有していきたいと考えている。
- 委員 ・公害の苦情について、グラフを見ると令和元年度に比べものすごく減って

いるようにみてとれる。実際は多いのか少ないのか。

事務局 →公害の件数に関して、同じ現場に対して何度も苦情を受けた場合の集計方法により件数に影響が出ている可能性がある。現在は、1つの現場につき何度苦情が来た場合でも1と数えている。令和元年度と比べると数が減って見えてしまう。130か所の苦情が今でもあるという現状は、他の自治体に比べても八潮は多い方かもしれない。

委員 ・それは八潮に工場が多いことがあるのか。

事務局 →実際のところ住工混在というところが一番大きい。準工業地域では住家も工場も建築は可能であり、工場の隣に家が建つこともあれば、あとから工場が建つこともある。

住んでいる人がそれを承知の上だとしても難しい部分がある。例えば小さな工場だと、規制基準を超えていると指導しても、すぐに対応するための資金を工面することも厳しいことがある。対処には苦慮している。

事務局 →電力については、市役所が新しくなったこともあり、これまでの使用実績と大幅に異なってくる。保健センターや教育委員会など今まで別にあった施設が新庁舎に入り、施設自体が大きくなった。性能の良い設備を使い省エネ化しているが、使用量についてはまだ見通しが立たない。実際のところは電気料金があがっている可能性もあるため、データが出たらお示ししたい。第三次環境基本計画への目標値について今までの目標値をそのまま移行することはできないと考えている。

会長 ・説明があった内容で「八潮市環境報告書について」承認してよろしいか
→異議なし

(2) 第3次八潮市環境基本計画の策定に伴う、環境に関する（市民・事業者）アンケート調査報告書について

審議内容は下記のとおり

事務局 環境に関するアンケート調査報告書について、資料に基づき報告

委員 ・回答率が低いのではないか、回答したかどうかの確認などはしているか。

事務局 →行政がするアンケートだと3割くらいが一般的なところで、回答率は標準である。回答したかどうかの確認などは行っていない。

内容としても細かい部分があり量がある。また、回答しにくい部分もあるかと思うが、内容が少なく薄くなると意味がなくなってしまうので、難しい部分がある。

委員 ・「将来環境について考えていく必要があるのでご協力おねがいします」など回答への協力を呼び掛ける一文を入れるなどしたらよかったと思う。

事務局 →回答しやすさの面では今回はWEBからの回答もできるようにした。

委員 ・自由意見などを含め、どのようにこのデータを使っていくのか、このデー

タを基に審議会としてどうしていったらいいのか、難しいところである。事業者さんなど、環境に興味をもっている人たちを取り込んでいけたらいいのではないかと思う。中小企業向けではエコアクション21などが参考になる。このアンケートから興味対象などがわかると、どういう対象にアプローチをしていけば良いかがわかる。興味のない人を引き込んでいくのは難しいので、関心を持っている人に対して、行動を起こすきっかけや、行政と企業・市民の方がつながっていくためにどんな方法があるのか、アプローチできたら良いのではないかと思う。

事務局 →市民の皆様もそうだが、特に事業者さんへ取り組みを進めていく必要があると考えている。アンケートと基本計画をどのように結び付けていくのかは、打合せしていく。検討した上でお示しできるようにする。

委員 ・私たちが動くことで解決できる問題は、なかなか難しい問題があると思う。興味を持っている人を動かしていけるような取り組みが必要だと思う。取り組みの絶対人数を増やしていけたら良い。第3次基本計画では10年あるから実際の結果は10年かけてだしていければいいと考えている。

委員 ・事業者が取り組まない理由の中で資金が不足しているということがある。その部分の解決策として県では金融機関と一緒に事業者向けの省エネ診断をやっている。カーボンニュートラルに関する先端産業を育成する意味で窓口も置いている。既にある取り組みを利用していくことで、八潮市さんの費用負担もあまりないうちに色々な情報を提供することができる。どうしても予算に縛られる事業なので、年度当初に情報があればホームページなどでなどに公開していけるとよい。市役所のZEBもPRして、事業者に広がっていけばいいと思う。

事務局 →色々な面から県と協力してPRなどしていけたらと考えている。

会長 ・報告があった内容及び意見を踏まえた上で環境基本計画の策定に向けて取り組むことでよろしいか。

→異議なし

4 その他

5 閉 会